



杏葉紋

北っ子

～「共に」～

学校だより 第17号

令和5年 2月17日

みやき町立北茂安小学校

校長 長野 篤志

みんながんばっています

1月末は、学級閉鎖や学年閉鎖、雪による臨時休業と保護者の皆様にも、ご心配をおかけしました。また、2月1日（水）は、今年度最後の授業参観でしたが、感染症拡大防止のため実施することができず、申し訳なく思っております。現在、まだまだインフルエンザや新型コロナウイルス感染症での欠席もありますが、半月前よりも欠席者は減っています。少しずつ元気な北小が戻ってきています。

最近のお昼の校内放送では、お世話になった6年生に向けて、各学年の代表が「お礼のメッセージ」を伝えるコーナーができています。これまでの学校生活を振り返り、感謝の気持ちや、励ましの言葉等が全校に響いています。きっと、一人一人が、その言葉のシーンを思い浮かべていることと思います。学級や学年での学校生活はもちろんですが、来週の「6年生を送る会」に向け、みんながんばっています。

市村 清さんについて

市村 清さんは、みやき町の名誉町民でもあり、多分野の企業が名を連ねる、リコー三愛グループの創始者でもあります。先日、リコー三愛会の方々が、学校の見学に来られました。

3年生社会科の副読本「わたしたちのみやき町」にも掲載されていますが、昭和33年に、下の写真にある講堂を、母校である北茂安小学校に寄贈していただきました。今では、現在の体育館に建て替わっていますが、体育館の入口には「市村 清コーナー」が設けられ、子どもや地域の方に業績や人柄が伝えられています。

三愛会の方々に、市村 清さんの胸像（職員玄関横）や、講堂の贈呈式の様子（校長室保管）を紹介しながら、あらためて偉大な方だと感じました。これからも、感謝をしながら校舎を使っていきたいと考えています。



校長室に保管されているアルバムの中から

おいしい給食（一口メモ）

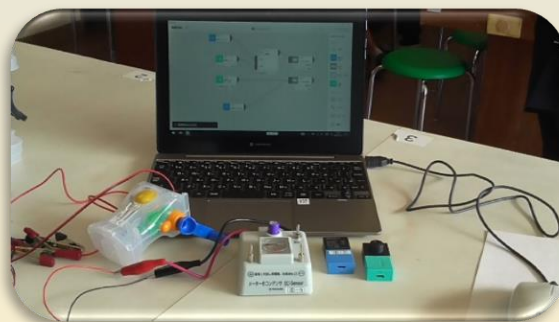
2月15日（水）は、イベント給食でした。献立は、**ご飯、牛乳、鮭の南蛮漬け、マカロニサラダ、豆腐の味噌汁**。メインとなる料理は、北茂安中学校の2年生が、冬休みの宿題で、家で作った魚料理でした。とてもおいしくいただきました。

今年度、コロナ禍の影響でできなかった「給食献立委員会」を再開しました。メンバーは、小中学校の校長、栄養教諭、中学校の給食担当、小中学校の保護者代表（小学校は、PTAの保体委員さん）で構成されています。1月の献立委員会の中では、2・3月のメニューについて確認していきながら、中学生の宿題の中からメニュー化をという話になりました。今後も、年間を通して、楽しく、おいしく、元気になる給食指導を続けていきます。



プログラミングの授業

6年生の理科の授業で、プログラミング学習をしました。「人感センサー」や「明るさセンサー」を使い、「人が近づく」「暗くなる」（条件）→「明かりをつける」（動作）を基本として、プログラミングをしていきました。子どもたちは、自分でプログラミングしたことがきちんとできているか装置を使って確かめ、複合的なプログラムにも挑戦していました。本校は、昨年度までプログラミング教育の研究指定を受けていました。今年度も、他教科等でも活かしています。



北茂安小学校のホームページでも、学校だよりをカラーでアップしています。ぜひ、ご覧ください。
<https://www.education.saga.jp/hp/kitashigeyasu-e/>